

企業名	株式会社 いしかわエンジニアリング		
企業代表者名	中島 秀司		
保有する環境技術	<ul style="list-style-type: none"> ・井戸水浄水化システムの製造及び据付 ・海外水道水を原水に応じて飲料化するシステム ・各種ろ過装置（重力式ろ過装置、循環ろ過装置、急速除鉄除マンガン装置、活性炭ろ過装置、精密ろ過装置、砂除去装置、ROろ過装置（純水設備）、生物ろ過装置） ・分散型給水システム及び遠隔監視システム 		
所在地	福岡県北九州市八幡西区黒崎城石 1-2		
HP アドレス	http://isikawa-e.co.jp/		
①アジア低炭素化センターとの連携実績			
期間	対象都市（国名/都市名）	概要	
2011年	インドネシア／スラバヤ市	東南アジアにおける井戸水浄水化システムの課題調査（環境未来都市助成事業、JETRO 地域間交流支援事業）	事業を終了した
2014年6月～ 2015年3月	インドネシア／スラバヤ市	インドネシア国スラバヤ市における飲料水製造システムの実証試験（北九州市中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業）	事業を終了した
2014年5月～ 2016年3月	インドネシア／スラバヤ市	インドネシア国スラバヤ市におけるコミュニティのための安全安心な飲料水供給と水環境改善事業（JICA 草の根）	事業を終了した
2016年6月～ 2017年5月	インドネシア／スラバヤ市	インドネシア国スラバヤ市における飲料水供給改善事業にかかる案件化調査（JICA 中小企業支援型）	事業化を中断・断念した
②当該企業の国内／国外実績			
【国内実績】			
<ul style="list-style-type: none"> ・国内 600 件の井戸水浄水化システムの製造及び据付（病院、学校、ホテル、JR 駅、ショッピングモールなど） ・各種 水処理装置の製造及び据付 			
【国外実績】			
<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市環境未来都市助成金「東南アジアにおける井戸水浄水化システムの課題調査」インドネシア ・北九州市「生協ネットワークを活用した飲料水供給可能性調査」インドネシア ・JICA 草の根技術協力「インドネシア・スラバヤ市におけるコミュニティのための安全安心な飲料水供給と水環境改善事業」への参画・市場調査 ・JICA 中小企業海外展開支援事業 案件化調査「インドネシア国スラバヤ市における飲料水供給改善にかかる案件化調査」による事業化 FS 			
③海外展開方針			
方針	三菱ケミカルアクアソリューションズ様と共同で案件に着手。		
実施体制の希望	<input checked="" type="checkbox"/> 現地で事業実施 <input type="checkbox"/> 販売のみ	<input type="checkbox"/> 現地企業と合弁 <input checked="" type="checkbox"/> 日系企業と合弁	<input type="checkbox"/> 単独
展開先希望 (国、都市、地域など)	インドネシア・カンボジア他	コンサルの活用希望	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
展開分野（検討・予定含む）	飲料水提供		

④海外のニーズに対応可能と考えられる技術・ノウハウ

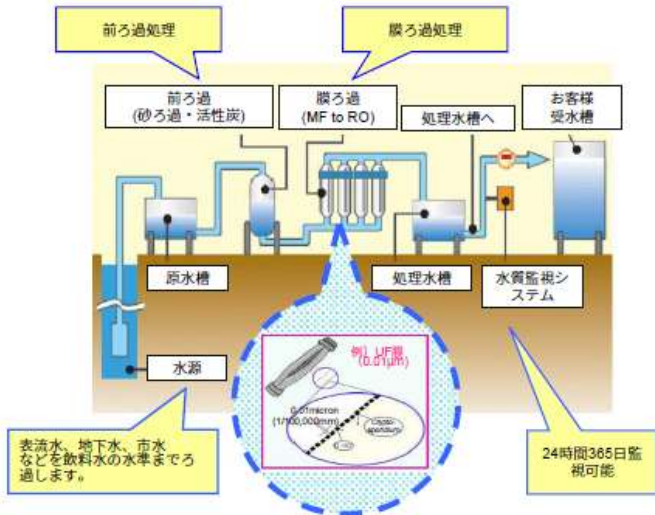
※ 対応可能規模、独自性・競争優位性、将来展望等

○分散型給水システムによる安心・安全な水の提供

地下水・表流水・水道水を原水として、前ろ過（砂ろ過、活性炭）、及び膜ろ過（限外ろ過膜、逆浸透ろ過膜など）を提供。

▼飲料水供給システムの基本フロー

▼遠隔監視システム



- ✓ 大規模かつ集中的な浄水場に比べて少ない投資で設置可能
(パイプライン、ポンプなどのインフラ敷設が最小限で済む)
- ✓ 遠隔システム採用により、異常時の迅速な対応や故障等の予知保全を実現

○システムを支える豊富な各種ろ過装置



急速砂ろ過装置



急速除鉄除マンガン装置



精密ろ過膜

<p>(1) 他社とのコラボ等に関する要望</p>	<p>・三菱ケミカルアクア・ソリューションズ様と共同で案件に着手。</p>
<p>(2) 当該企業の将来性や今後の展開に対する期待 (KITA コメント)</p>	<p>水ろ過技術及び装置について、豊富な実績をもつ北九州市内の中堅メーカーである。国内においては、井戸水を浄化したプライベート水道装置について、病院、学校、ホテル、JR 駅、ショッピングモールなどに数多くの納入実績を有する。海外においては、北九州市の環境姉妹都であるインドネシア・スラバヤ市の水道水末端の飲料化の技術協力、案件化調査を行った実績がある。今後の海外展開について、東南アジアを中心に、大規模な上水道インフラをもたない地域に、当該企業の強みであるろ過装置を組み合わせた「分散型給水システム」を普及させることにより、地域住民に安全な飲料水を提供することが期待される。</p>